

泉のほとり

・昇天後主日



今月の詩編 「第三十三編」
主に従う人よ、
主によつて喜び歌え。
主を賛美することは
正しい人にふさわしい。

ロは「あなたがたが殺したイエスを神さまはよみがえらせた」と証しますが、彼らは受け入れず、「今後、イエスの名によつて話してはならない」と脅し、釈放しました。

徒た仲間の弟子たちの元へ帰ると、捕らえられ、監禁され、尋問され、脅しを受けたことまで一部始終を知らせたのです。彼らは心を一つにして、神さまに声を上げます。「あなたは天と地と海と、全てのものを造られた方です」。また詩篇を引用し、「なぜ異邦人は騒ぎ立ち、諸國の民はむなしいことを企てるのか。地上の王たちは立ち上がり、指導者たちは団結して主とメシアに逆らう」と。それら、あなたが前もって定められたことが実現した」と。

指導者たちのなしたこと全てが天と地と海を造られた方のご支配の中にありました。この世界、全てを造られた方、天地の造り主の前に隠れているものは何一つありません。神さまは指導者たちの悪しきわざも全てを見て、ご存じでした。弟子たちはこの天地の造り主をはつきりと見て、信じているのです。

エルサレムには悪しき指導者の脅しの声が鳴り響いています。弟子たちが福音宣教を続けるなら、より一層厳しい迫害が待ち受けているかもしれません。その中で天地の造り主に祈っています。「彼らの脅しに目を留め、

ペトロとヨハネは主イエスの十字架と復活を人々に宣べ伝えっていました。その二人のところに民の指導者たちが近づいてきました。かつて彼らはイエスを捕らえ、ローマ総督ピラトに渡し、民を扇動し、主を十字架へと追いやつた人々です。彼らはイエスの復活を証しする使徒たちに苛立ち、二人を捕らえ、連行し、牢屋の中に閉じ込めたのです。翌日、二人を取り開み尋問しました。ペトロは「あなたがたが殺したイエスを神さまはよみがえらせた」と証しますが、彼らは受け入れず、「今後、イエスの名によつて話してはならない」と脅し、釈放しました。

弟子たちが祈り終えた直後、一同が集まっていた場所が揺れ動き、みな聖霊に満たされ、神の言葉を大胆に語り始めたのです。これこそ天地の造り主からのお話しです。神さまが弟子たちの側についておられる確かなしるしです。それを身をもつて体験した弟子たちはどれほど励まされたことでしょうか。彼らは身の危険があるエルサレムで、天地の造り主を、イエス・キリストを大胆に宣べ伝えていくのです。

この世には、天地の造り主がおられます。今、私たちが生きるこの世界、地球上の80億人を超える全ての人々も、わたしたち一人一人をも造られた神さまがおられます。昔も今も変わらず、全てがこのお方のご支配の中にあります。全てを見ておられ、全てを知つておられる神。わたしたちは、その天地の造り主の前を生きているのです。

初代教会の弟子たちは人々からの反発、脅しの声、悪しきわざが身近に行われる中でも、天地の造り主を見て、信じて、力強く、大胆に生きたのです。わたしはこれから一人一人、どのようなことが起こったとしても、信仰の天地の造り主を見て、信じる、その信仰によつて、力強く、大胆に生きていくたいと思いま

心を一つにして

2024年度

教 会 全 体 課 題

聖書の御言葉に生きる。

《今日のお知らせ》

- 札拝後の特別な集会はありません。

《今後の予定》

- 五月一九日 ペンテコステ礼拝
- 六月二日 信仰者に学ぶ会

《礼拝伝道委員会より》

『ペンテコステ讃美の会と愛餐会（各自持参）』を

五月一九日（日）ペンテコステ礼拝後、地下ホールで行います。

当日のスケジュール

【礼拝堂にて】

九時一〇分～九時五〇分（子ども礼拝）

一〇時三〇分～一時四五分（ペンテコステ礼拝）

【地下ホールにて】

一二時一五分目途～一二時三〇分（讃美集会）

一二時三〇分～一三時（食事持参の愛餐会）

久しぶりの愛餐会です。昼食は各自ご用意ください、ご参加ください。容器は極力お持ち帰りくださいます。ようご協力お願ひします。

《ぶどうの会より》

第2・3シオンルームでぶどうの会を行います。

《教会学校より》

次週一九日のペンテコステは礼拝堂で子ども礼拝を行います（九時一〇分から）。教会員の皆様には、どんな子どもたちが教会の中で育つているかを知る機会として、礼拝に一緒に参加していただきたく、ご案内いたします。（入堂は九時以降。聖餐式はありません）

《ルツの会より》

五月二六日(日)公開ルツの会を行います。時間は主日礼拝終了後、一五分後を目途に開始し、会は四〇分程度を予定しています。場所はカナンルームです。お話の担当は宮間彰広兄です。

今後、毎月第四週の礼拝後に会を行い、出エジプト記をご一緒に学んでいく予定です。ロビーに今後の日程、聖書箇所、タイトルが記載されているチラシを貼りましたので、どうぞご覧ください。

『ジユネーブ教会信頼問答』

第四聖日

問二五 何ゆえ、神は天と地のつくりぬしであるをと付け加えるのですか。

答 神はそのみ業によつて、われわれに御自身をあらわされたゆえ、われわれはこれらのみ業において、神をたずね求めるべきであります。なぜならば、われわれの知性は神の本質を理解することができないからであります。けれども、世界はわれわれにとって、ちょうど鏡のようなものであつて、この鏡においてわれわれは、神がわれわれにとっています姿のままに、神を考察することができるのであります。

問二六 天と地ということによつて、残りのもうもうの被造物は考えに入れないのですか。

答 いいえ入れます。しかし、それらの被造物はこの二つの言葉の中に含まれております。それはいざれも天に属するか地に属するかでありますから。

問二七 被造物をそれぞれの状態にたえずさきえ維持することは、これらをただ一度創造したことよりも、ずっと大きなことであるのに、どうしてあなたは、神を、單につくりぬしと呼ぶのですか。それは単に、神が一度にその作品を出現させ、あとからはもう顧みることなく放置されることを意味するのではありません。むしろ、世界が初めてに神によつてつくられたように、今なお、神は世界をその状態に維持しておられ、かくて

『今日の子ども礼拝』

説教 「帰ってきた息子」

聖書 ルカ15章11～24節

説教者 宮間彰広兄

『次週の礼拝』

ペントコステ礼拝

● 子ども礼拝（午前9時20分・礼拝堂）

説教 「主イエスを教えてくださる聖霊」

聖書 使徒2章1～13節

説教者 吉村和雄名誉牧師

● 主日礼拝（午前10時30分）

讃美歌 180番 499番

説教 「最高の賜物を与える聖霊」

聖書 一コリント12章31～13章13節

説教者 黄允湜牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 158番 334番
 説教 「神からの誉れを愛せよ」
 聖書 ヨハネ12章27~43節(新約P.192)
 司式 石川一兄
 聖餐司式 黄允湜牧師
 説教者 黄允湜牧師

悲しみに立ちつくし
 救けは望めないように
 閻暗く見える今
 彼は死に勝たれた
 灰より再び燃え出る火のように
 よみがえりの力もて
 主は我らをも立たせたもう
 祈りは聞かれないように
 望みは空しいように見える時にこそ
 主はみ顔を示して
 勝利を得させたもう

前奏曲「おお神、全能の神」J.S.バッハ

○讃美歌158番

1.あめには御使 喜びうたえ
 つちには世の人 み告げをきけや
 わが君この日ぞ 死にかちませる
 生命もまことも 道もイエスなり
 2.よろづの国民 いそぎ来たりて
 爭いあえりし むかしを忘れ
 まことの御国の もといを定めし
 独りの御子をば 君としあおげ
 3.われから輒に なやめる者よ
 解けしを知らずや 罪のなわめを
 桄つべき生命は はや失せゆきて
 現れそめたり くちぬ生命は
 4.御国にあだなす 悪魔にかちて
 天なるさかえに 入らせたまえり
 こころを尽くして 君にたよらば
 終りの勝ちこそ わが手にあらめ

アーメン

○聖歌隊による讃美

「主は勝たれた」 グライアンJ.リー作曲
 何も起きないように
 敵は勝ち誇るように
 閻暗く見える今
 彼は死に勝たれた

○讃美歌334番

1.いつわりの世に わかれを告げ
 罪とけがれを うちしりぞけ
 ただひたすらに われはしたう
 とわに変わらぬ あまつ国を
 2.かみの御子なる わが主イエスよ
 みむねのままに みちびきませ
 苦しみわれに せまり来とも
 みちからをもて つよめたまえ
 3.こころのうちに 照り映ゆるは
 イエスの十字架の みひかりのみ
 み名をたたえて われ安けく
 死のおおなみを 乗りこえゆかん
 4.み腕にすがる しもべの名を
 いのちの書に しるしたまえ
 主は眞実にぞ ましませると
 あまつ国にて 我はうたわん

アーメン

聖餐曲「救い主よ、十字架の愛よ」 D.カド

後奏曲「協奏曲ニ短調 第5楽章」 J.S.バッハ

(A.ゲイヴアルディ原曲)

*礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。